



中古機械船積前検査の実施要領

本検査は中国の法律及び国家技術規範の強制要求に基づき、下記の手順で実施しますので、該当項目の検査準備をお願いします。なお、検査員はデジカメを持って検査現場に参りますが、検査現場の規定又はお客様の要望がございましたら、お申し付けください。対応させていただきます。

1. 一致性の検査

- ① 検査対象設備のメーカ銘板と申請書に含まれる設備リストの記載内容を照合します。
- ② オーバーホール又は改造等で銘板を貼り替える場合には、必ず元の銘板(オリジナル)も設備に取付願います。銘板の貼り替えによる製造年の偽造は不合格と判断しますので、ご注意ください。

2. 安全性の検査

- ① 検査対象設備・付属品に中国の法律で輸入が禁止されている品目が含まれていないかを確認します。
規定を超える圧力容器（タンク、ボンベ、消火器、アキュムレータ等）及びブラウン管モニタ、冷凍機やオイルクーラ等に用いるフロン冷媒(フロンガス：R11、R12、R113等)の使用機器は輸入禁止です。
ただし、R134a、R407C、R22等の代替フロン使用設備はCFC不使用の保証書(検査時、検査員よりお渡しします)を提出いただければ輸入可能です。
- ② 危険箇所に安全柵&カバーが設置されているかを確認します。
- ③ 非常停止ボタン基部の背景色が黄色であることを確認します。
- ④ 操作盤の操作ボタン(非常停止ボタン含む)、警告文&操作案内等が中国語で表示されていることを確認します。タッチパネル内の表示は検査対象外です(日本語表示でも可)。
- ⑤ 危険箇所に適切な警告ラベル（高電圧・感電・高温・挟まれ注意等）が貼付されているかを確認します。
機器の表面に露出したモータや制御盤扉には感電注意ラベルが必要です。
- ⑥ 制御盤内の50V以上の接続端子に感電防止カバーが取付けられてるか確認します。
- ⑦ アース線の被覆色が緑黄色のストライプになっているか確認します。
- ⑧ アース線が同軸に複数接続されていないか確認します。
- ⑨ 設備の電源電圧、電源周波数を確認します。
(中国の電源電圧は単相220V、3相380V、電源周波数は50Hz)

* 検査時、①～⑧について検査員が「要改善」と判断した際、日本国内での改善が必要です。改善後の写真と保証書類(検査時、検査員よりお渡しします)に日本側輸出企業殿の社印を押印の上提出いただきます。

⑨について検査員が「要改善」と判断した際、日本国内で改善を行うか、貨物が中国へ到着後に改善を行うか選択する事が可能です。日本国内で改善を行う場合は改善後の写真送付、中国にて改善する場合は中国改善保証書(検査時、検査員よりお渡しします)に中国側輸入企業殿の社印を押印の上提出いただきます。

- ⑩ 機器の運転が可能であれば動態検査を実施しますので、検査準備をお願いします。(一般設備のみ)

CCIC・JAPAN Co., Ltd.

CCIC BLDG., 2-7-1, KAYABA-CHO, NIHONBASHI, CHUO-KU, TOKYO, 103-0025 JAPAN
TEL: +81-3-3663-4171 FAX: +81-3-3663-4106 EMAIL: kikai-info@ccicjapan.com
URL <https://ccicjapan.com/>



CCIC・JAPAN 株式会社

〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町2-7-1 CCICビル

通電試験、緊急停止、騒音測定(建機、農機)等を実施します。

建機、農機につきましては動態確認が出来ない場合、不合格となります。

- ①建機、フォークリフト、農機はエンジンを始動(バッテリー車はキーON)させ、ライト類の点灯確認、ライトレンズやミラーの割れ、欠損の確認、運転席周辺の操作スイッチ・警告ラベルの中国語表示の確認、クローラ・バケット・キャビン内等の清掃状況の確認、エンジンシリアル番号の確認(エンジン車のみ)、アワメータの確認、シリンダの縮み量(油圧ショベルのみ)の確認、キャビン内での騒音測定、中国語版取扱説明書の準備状況の確認を行います。なお、バケットやフォーク、マスト等は検査前に取り外さないようお願いします。(検査後であれば取外し可)

* ①について、検査の際検査員が「要改善」と判断した際、日本国内での改善が必要です。改善後の写真と保証書類(検査時、検査員よりお渡します)に日本側輸出企業殿の社印を押印の上提出いただきます。

3.環境衛生面の検査

- ①有毒物質、有毒ガスを使用した設備につきましては、ISO14001の取得証明書(日本側&中国側)及び洗浄証明書が必要となります。なお、中国側輸入企業がISO14001を取得していない場合、中国政府の環境保護に関する証明書(環境批准書)が必要です。
- ②設備の衛生状態を確認します。
- 加工屑、ホコリ及び油、土砂等が付着している場合、日本国内にて清掃が必要です。
- ③粉塵・汚水・有害ガスの使用と排出が無いことを確認します。

ご不明点等ございましたら、ご遠慮なくご一報いただけますと幸いです。

CCIC・JAPAN(株)検験鑑定部

kikai-info@ccicjapan.com

03-3663-4171

CCIC・JAPAN Co., Ltd.

CCIC BLDG.,7-1, 2-CHOME, NIHONBASHIKAYABA-CHO CHUO-KU, TOKYO. 103-0025 JAPAN

TEL:+81-3-3663-4171 FAX:+81-3-3662-2720 EMAIL: kikai-info@ccicjapan.com

URL <https://ccicjapan.com/>